

白鷹町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました

■問い合わせ 企画政策課企画調整係 ☎85-6123

町では、人口減少問題に正面から向き合い、将来的に持続可能なまちづくりを進めるため、「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定しました。(本文等詳細はホームページ)

本ビジョン及び戦略の策定にあたっては、白鷹町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会を設置し、各委員をはじめ町民の方々、町議会、関係各種団体等多くの方々からのご意見、ご提言を基にしたものです。

【平成27年10月28日策定】

＜基本目標1＞

し **自然・人材・資源を活かし、企業活動の振興や収納支援を強化し産業の活性化により雇用を創出します**

- ◎農業経営の確立 ◎林業の振興 ◎商工業の振興 ◎観光の振興 ◎産業人材の育成 ◎起業・創業支援
- ◎産業間及び地域間連携 ◎雇用の安定と労働環境の充実、企業立地促進 ◎特産品の振興開発

＜基本目標2＞

ら **ライフスタイルに合わせた多様な交流・移住を推進し、新しいひとの流れをつくります**

- ◎移住受入の推進 ◎地域おこし協力隊の活用 ◎交流の拡大 ◎ふるさと納税

＜基本目標3＞

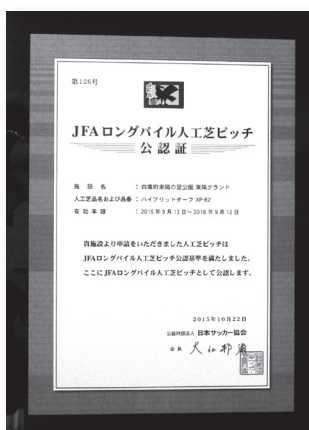
た **たくさんのお子どもたちが元気に生まれ、安心して育てられる子育て教育環境の充実を進めます**

- ◎結婚支援 ◎子育て支援 ◎教育振興・人材育成 ◎女性の活躍推進

＜基本目標4＞

か **活力ある地域の構築に向け、コミュニティセンター（小さな拠点）を核に共創し、安全で健康的な暮らしやすいまちをつくり、定住促進を図ります**

- ◎コミュニティセンター（小さな拠点）を中心とした地域経営と共創 ◎地域公共交通の確保 ◎雪対策



東陽グラウンドが、人工芝サッカー競技場として日本サッカー協会から公認されました。

これまでにも公認を受けてきましたが、この度、ボールの転がり具合、弾み具合、面の均一性、足への負担度などの項目について検査を受け、基準を満たしているため、再び公認をいただいたものです。公認期間は2018年9月12日までの3年間です。なお、東陽グラウンドは、山形県フットボールセンターとしても指定を受けています。

東陽グラウンド 人工芝サッカー競技場として公認



▲11月2日、町長室で抱負を語る石井さん

11月1日より、町内初の「地域おこし協力隊」の隊員として、千葉県出身の石井紀子さんが町長より委嘱されました。委嘱期間は最大3年間です。「歴史文化と地域おこしのマッチングを目指していきたい。地域の皆さんに早く覚えていただきたいよう、イベントなどに積極的に参加させていただきたいです。」と石井さん。

今後は蚕桑地区を中心に地域の行事の参加・企画、文化財等の歴史調査、情報発信などの地域おこし活動に取り組みます。

「地域おこし協力隊」に石井紀子さんが着任